

JSURP公式SNSのフォローをお願いします！

多くの方に当協会の活動を知っていただけるよう、各SNSでイベント案内をはじめ、活動報告やプランナー視点でのまちの風景紹介、事務所の様子などを発信しております。それぞれQRコードを読み取り、ぜひフォローや「いいね！」をお願いいたします。



「みんなのまちづくりトーク」音声配信中！



JSURPの新たな情報発信として、音声配信を始めました。番組では、より多くの方々と交流をはぐくみ、その輪をひろげていきたいと考えています。QRコードのいずれかを読み取り、ご視聴ください。



日本都市計画家協会(JSURP)事務局



JSURPの新たな創発拠点

JSURPは、将来の都市の姿、そして都市計画・まちづくりのあり方を見据えながら「常に共創・発信する運動体」として活動を展開しています。

本拠地は、イノベーションを起こすことを目的とした新しいタイプのワークプレイス・シェアオフィス「axle御茶ノ水」です。都市やまちづくりに関わる方々・興味をお持ちの方々、お近くに來られる際にはぜひお立ち寄り下さい。またイベントなどの最新情報はHP、フェイスブック、メルマガ等で随時発信していますので是非アクセスしてください。



〒101-0052
東京都千代田区神田小川町
3-28-5
axle御茶ノ水306号室
TEL 03-6811-7205
FAX 03-6811-7206
E-mail jimukyoku@jsurp.jp
URL <https://www.jsurp.jp/>



HP



note

Information



認定特定非営利活動法人 日本都市計画家協会
Japan Society of Urban and Regional Planners

PLANNING at the GRASSROOTS

— 街と人をつなぐために —

日本都市計画家協会の
まちづくり活動を知る



contents

02 JSURPの活動風景

04 JSURPとは？

05 会長あいさつ、副会長の紹介

【 JSURPの主な取り組み 】

06 ▶ ① まちづくり支援

08 ▶ ② フォーラム

10 ▶ ③ 研究会活動

11 ▶ ④ 地域活動

12 ▶ ⑤ 交流の場づくり

▶ ⑥ プランナー育成

13 ▶ ⑦ 企業連携

▶ ⑧ 表彰制度

14 ▶ JSURPを知る10のキーワード

▶ 活動を通して感じる
JSURPの魅力とは？

15 ▶ 発行物

▶ 寄付のお願い



▲事務所の様子



▲休眠預金等活用事業件走支援(外国人)



▲全国まちづくり会議



▲出前講座



▲休眠預金等活用事業件走支援(沖縄)



▲シンポジウム開催



▲能登半島地震の復興支援
(輪島市黒島地区)※夏の日額祭参加



▲東日本大震災の復興支援
(大船渡市越喜来地区)



▲逃げ地図研究会



▲能登半島地震の復興支援
(輪島市門前地区)



▲東日本大震災の復興支援
(大船渡市中赤崎地区)



▲プレイスメイキングワークショップ



JSURPの活動風景



▲福岡支部



▲静岡支部



▲合同就職相談会



▲みんなのまちづくりトーク収録

日本都市計画家協会(JSURP)とは？

全国のまちづくりに貢献するため、

まちづくりの経験や知恵を 社会に還元する

認定NPO法人です。



Our Mission /

まちづくりの力で
社会課題を解決する



Social vision /

より多くの人が
自分たちのまちに
関心を持ち、地域課題を解決
できようになっている



JSURPは

1993年に設立、2001年にNPO法人化、2014年には認定NPO法人を取得しました(2024年度末会員数約400名)。

都市計画やまちづくりの専門家として、学識、コンサルタント、自治体など、多様なメンバーにより構成されており、全国のまちづくりの発展に貢献すべく活動を展開しています。

1993年 設立

2001年 NPO法人化

2005年～ 全国まちづくり会議

2011年 震災復興 タスクフォース設置

2014年 認定NPO法人化

2015年 J'sカレッジ、J'sカフェ 開始

会長あいさつ

近年、私たちを取り巻く社会が大きく変わりつつあります。地球レベルでは気候変動が気候危機へ、地域社会ではコミュニティの衰退が懸念されています。災い(禍)はそれまでの社会のトレンドを加速すると言われていますが、震災やコロナ禍などが、人口の減少と高齢化、コミュニケーションのオンライン化、そして人・モノ・情報のグローバル化の進展が、私たちの暮らしに身近な地域も大きく変えつつあります。

こうした状況下、JSURPは、2023年に設立30年を迎えるにあたって、「より多くの人々が自分たちのまちに関心を持ち、地域課題を解決できるようになっている」と

いうビジョンの実現に向け、「まちづくりの力で社会課題を解決する」というミッションを打ち出しました。そして、新しい仲間を増やし、新たな研究や事業を進めてきました。その結果として、減少傾向にあった会員数はプラスに転じ、特に正会員と団体賛助会員が増えました。研究会をはじめとした日常的な活動を通して新しい仲間が増えた点と協賛企業の業種の幅が広がった点が特徴です。

JSURPの設立当初と比べて、私たちが関与するプランニングや自他ともに認識するプランナー像が大きく変わってきました。一言で言えば、扱う領域はますます広がり、複雑化し、プランナー像は

多様化してきました。様々な領域の専門家とチームプレイをしていかなないと複雑化した地域課題は解けなくなってきています。これからはJSURPのミッションを強く意識し、ビジョンを広く共有し、公益的な団体をはじめ連携の輪を広げていきます。そして、様々な催しを通して、これからのJSURPのあり方、まちづくりを支えるプランナーのあり方を考えながら、まちづくりの担い手との連携をさらに強めていきます。そのため、新たな事業や研究、パートナーを発掘し、新しい仲間を増やし、視野を広げつつ未来を展望していきます。今後とも熱いご支援を賜りますようお願い申し上げます。

認定特定非営利活動法人
日本都市計画家協会 会長

／ 明治大学

山本 俊哉



副会長の紹介



江田 隆三

(株)地域計画連合



木村 静

広島支部長
広報・交流部会長
／NPO ETIC.



坂井 猛

福岡支部長・
交際交流部会長
／九州大学



高鍋 剛

フォーラム部会長
／(株)都市環境研究所



原 拓也

総務担当副会長
／NPO KAOの会

地域団体や自治体を対象に まちづくり初動期を支援しています

スタートアップ支援・まちづくり相談事業・出前講座



◎ 地域主体のまちづくりを推進したい地域団体や自治体に対し、テーマに沿った専門家を派遣し、課題の解決や今後の後押しにつながるプログラムを提供しています。

地域団体向け出前講座

レクチャーとまちづくりを具体化するワークショップ等による複数回の連続講座。

自治体職員向け出前講座

希望するテーマ（まちづくりの政策立案、地域に入るポイントなど）に併せたレクチャーや意見交換を組み入れた職員研修。

プレイスメイキングワークショップ

短期的なプレイスメイキングの実践体験と本格実施に向けたワークショップ。

これまでの実績と成果

2019年度からは、官民連携まちなか再生事業（補助金）を活用してプログラムを実施しています。これまで延べ43の地域団体・自治体を支援し、エリアプラットフォームやキャパシティビルディングに貢献しています。



震災被災地のサポートで各地に訪れています

災害支援活動



◎ JSURPでは目的に応じ会員メンバーを中心にタスクフォース(TF)を組み、プロジェクトに取り組んでいます。

◎ 災害支援活動では、新潟中越沖地震プランニングエイドや能登半島地震TF等を組み、復興まちづくり活動を支援しています。コミュニティ再生に主眼を置き、地域の方々との対話を通じ、土地にあった復興の方向性を導く伴走型支援を行っています。

◎ 災害時の迅速かつ的確な支援に向けて、平時から大規模災害に備えた復興まちづくりの人材育成と体制づくりを行っています。

震災復興以外にも空家活用、コミュニティデザイン等、様々なテーマでの支援を実施しています。



これまでの実績と成果

2022年度は茅ヶ崎市における茅ヶ崎地区防災“も”まちづくりワークショップに協力しました。若手メンバーを中心にTFを組み支援を行った結果、茅ヶ崎市が被災した際の支援チームが結成され、今後の体制づくりのモデルができました。

各地の社会課題の解決やまちづくりの担い手を支援するため、中間支援組織として伴走支援をしています

伴走支援



◎ 各地の自治や公益活動を行う、まちづくりの担い手団体に対し、中間支援組織として支援を行っています。

◎ 支援団体の課題を理解し、持続的な活動につなげるために、専門的・第三者的な見地から支援をしています。自治体や各団体・企業への橋渡し、事業化のサポート、取り

組みの発信、交流の場づくりなどを行っています。

◎ 近年は、休眠預金等活用事業の活用により、「外国人と共に暮らし支え合う地域社会」や「沖縄版誰もが支え合い、働く社会の実現」をテーマに各地の実行団体の伴走支援を行っています。



▲ 活動報告会・交流会



地域に入り、まちづくり活動の担い手支援に取り組みたい個人・団体様や、地域を支えるスポンサーとなる団体・企業様を募集しています。地域と一緒に「担い手を育て、増やしていく」プログラムを展開しませんか。

これまでの実績と成果

2020年度からは一般財団法人日本民間公益活動連携機構(JANPIA)の休眠預金等活用事業を活用し、支援組織の持続的な活動につなげるために、伴走型支援と資金支援を行っています。例えば「外国人と共に暮らし支え合う地域社会形成」事業では、2020年度は7団体（資金支援：4,250万円）、2022-23年度は12団体（資金支援：1億円）の実行団体の支援をしています。



仲間・パートナー
募集中!!

全国まちづくり会議を開催しています



◎全国まちづくり会議（通称・全まち）は、全国各地で活動する草の根まちづくり団体や、まちづくりの専門家、プランナー、企業、行政、研究者などが1年に1回集まる

交流イベントです。2005年に「全国都市再生まちづくり会議」として始まり2008年の第4回から「全国まちづくり会議」となり、全国各地で行ってきました。まち

づくり団体等のパネル提示や、テーマ別セッション、まち歩きなど、複数日にわたり、多くの企画が同時進行で行われます。どなたでもご参加いただけます。



全まち2024 in ナゴヤ

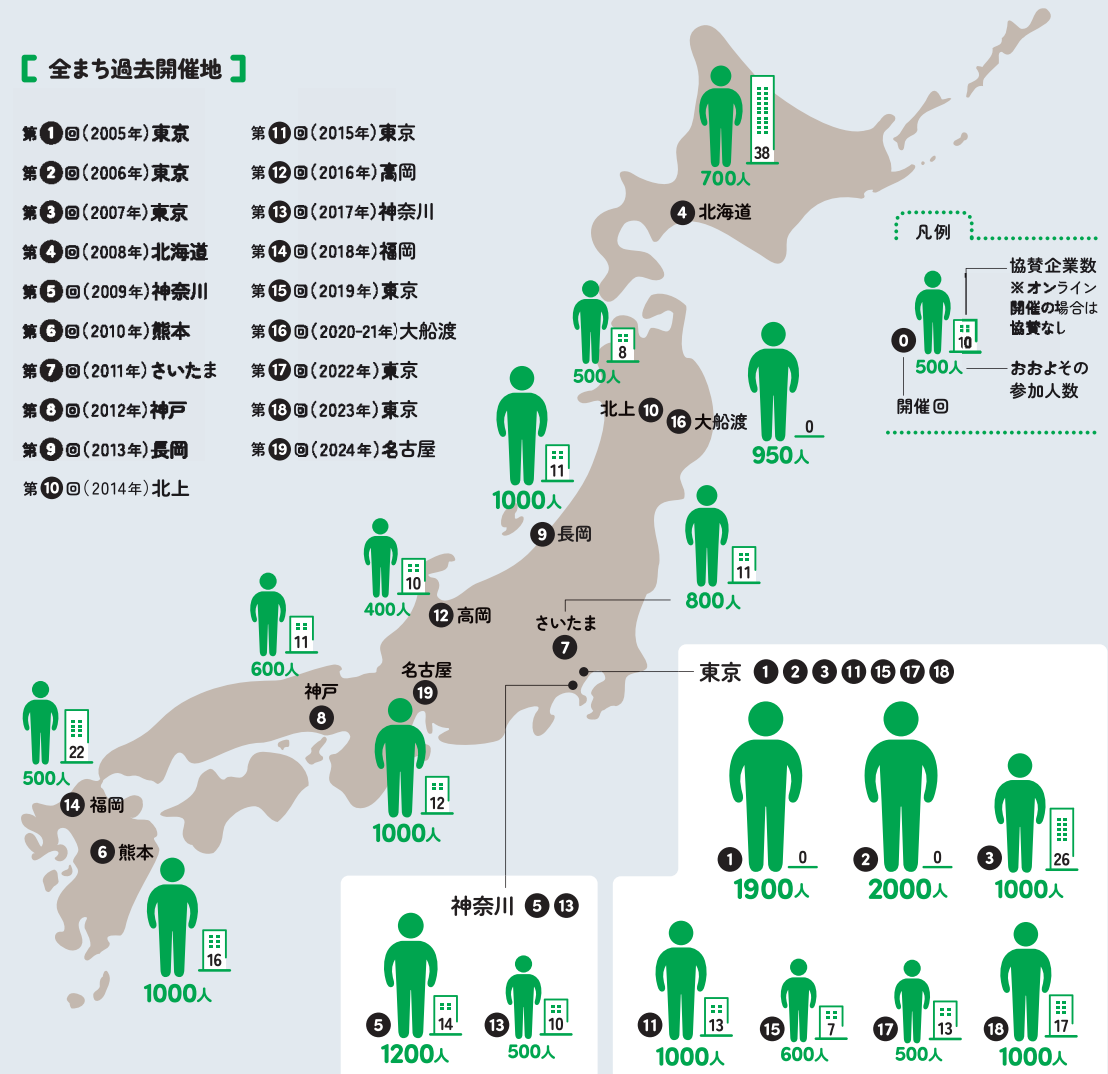
今回は、名古屋市中心部の円頓寺商店街の中にある学校跡地「ナゴノキャンパス」を活用し、テーマを「ナゴヤのまちづくりの行方」として行いました。オープニングセッションには、名古屋市住宅都市局長の坂本氏、東京大学の村山氏、名古屋工業大学の秀島氏をお招きし、「ナゴヤのまちづくりの行方」について語っていただきました。

コロナもはさみ、久しぶりの地方開催となった2024年は、地元ナゴヤのまちづくり活動について数多くのセッションを開催するほか、建築系の学生まちづくりコンペのプレゼンテーションと表彰なども行いました。そのほか、円頓寺商店街の道を活用した「逃げ地図ワークショップ体験」や、商店街及び沿道の店舗と連携した道空間での懇親会を開催す

るなど、まちを使ったイベントとして実施しました。3日目のエクスカーショでは、錦町などの市内のまちづくり事例のほか、SUP体験や近隣都市岡崎市のエクスカーショも実施するなど充実したプログラムでした。

【全まち過去開催地】

- 第1回(2005年)東京
- 第2回(2006年)東京
- 第3回(2007年)東京
- 第4回(2008年)北海道
- 第5回(2009年)神奈川
- 第6回(2010年)熊本
- 第7回(2011年)さいたま
- 第8回(2012年)神戸
- 第9回(2013年)長岡
- 第10回(2014年)北上
- 第11回(2015年)東京
- 第12回(2016年)高岡
- 第13回(2017年)神奈川
- 第14回(2018年)福岡
- 第15回(2019年)東京
- 第16回(2020-21年)大船渡
- 第17回(2022年)東京
- 第18回(2023年)東京
- 第19回(2024年)名古屋



まちづくりに関わる人たちの情報交換、つなげる場を提供しています

テーマ別セッションの開催

◎都市計画マスタープランなどの都市計画関連制度に関するテーマや公共空間活用、エリアマネジメントなど、まちづくりの最前線に関するテーマを取上げ、シンポジウムやセッションを開催しますが、2023-2024年度にはJSURP30周年の区切りを

迎えることを踏まえて、「これからのプランニングとプランナー」を年間テーマとしてセッションを開催しました。連続セッションを踏まえて最終的に2024年12月にJSURPとしての「都市プランナーズビジョン2024」を公表しました。



▲「都市プランナーズビジョン2024」

JSURPの基礎的な会員活動の一つ「研究会」

◎都市・地域づくりに関する特定テーマについて、JSURP会員の主体性に基づいて組織し、会員外とも共同・連携して自主

的な活動を行っているのが研究会（正会員3名以上の発起人で設立可能）です。これまでに約50もの研究会が活動してきました。

1 逃げ地図研究会

逃げ地図研究会は、地震に伴う津波や延焼火災、台風に伴う洪水や土砂災害等、多様な災害からの「逃げ地図」づくりを通したリスクコミュニケーションとそれを起点にしたまちづくりを全国的に広げるため、「逃げ地図」づくりのマニュアルや実践事例を掲載したwebサイトを構築し、そのファシリテーターを担う「防災逃げ地図士」を認定・登録するとともに、「逃げ地図」づくりを起点にまちづくりへ展開する公民連携活動を進めています。



4 街づくりAI研究会

AIの進展の功罪について議論は多いですが、これは情報化について過去から続いている議論であり、社会生活における情報化の功罪を改めて追いかける予定です。

6 これからのまちづくり研究会

まちづくりに関わる地方公共団体等をはじめとした多様な主体に属する現役世代同士の議論の場を設け、これからのまちづくりについてどのように考え、取り組んでいけば良いのか研究をしています。

8 コモンズ研究会

神奈川県綾瀬市をモデル都市とし、官民協働（コモンズ型）の土地利用をベースとしたまちづくりシステムを研究し、賃貸型都市の新しい社会システムによる計画策定を図り、現実の課題解決と将来のまちづくりに対する提言等にも取り組んでいます。

2 自転車まちづくり研究会

都市における自転車利活用のあり方を明らかにし、そのまちづくりの方向性・具体策を考えていくことを目的に様々な活動を進めています。

3 女性とまちづくり研究会

都市計画やまちづくりの分野で女性の視点と参加を促進し、より包括的で持続可能なまちづくりを目指し、都市の様々な課題に対して女性特有の感性やニーズを反映したまちづくりを推進することを目標としています。

5 首都直下地震・復興グランドデザイン研究会

災害からの復興過程におけるあるべきビジョンやグランドデザインを検討するとともに、首都圏の復興に関する知見と計画技術の蓄積を図ること、また関係団体との顔が見える関係づくりを行っています。

7 ものづくりまちづくり研究会

「ものづくり」と「まちづくり」は、相関・連携して地域を形成する要素として機能しています。時代の変化に対応して自立を実現する多様なまちづくりの可能性を探り、参加者の連携促進を進めます。

9 パブリック・ライフ研究会

都市におけるパブリック・ライフのあり方やその創出・価値向上に資する空間・仕組み・運営などに関する研究を行い、活動プロセスや成果を広く一般に開き、その可能性や重要性及び理念や手法を啓蒙啓発していきます。

各地で展開される支部活動



◎JSURPには全国に会員がいます。また、各地に支部があり様々な活動を展開しています。2022年度に広島支部、2024年度には積丹支部が誕生しました。

◎主に緩やかな交流活動としての「J's

カフェ」や「まち歩き」、各種のシンポジウムなどを開催し、各地域のまちづくり関係のネットワーク構築、オンラインも併用した全国のプランナーとのネットワークを構築しています。

福岡支部



牧 敦司

福岡支部は、2008年に設立し、福岡県内外のJSURP会員23名（2023年度現在）で構成されています。メンバーは、民間建設コンサルタント、建築士、不動産業、エネルギー、交通事業者、行政、大学など

です。幹事会で企画し、支部交流学習会 J's café in Fukuokaおよび見学会などを開催し、参加者間の意見交換を通じて、まちづくりに関

静岡支部



海野 芳幸

静岡支部は、2006年6月に設立され、静岡県内外のJSURP会員15名（2023年度現在）で構成されています。会員は公務員、民間建設コンサルタント、建築士、不動産業等バ

ラエティに富んでいます。この支部メンバーが一緒になり、これまで様々な活動を進めてきていますが、毎年、支部総会やまち歩き、まちづくり勉強会などを開催しています。

北海道支部



近藤 洋介

北海道支部は1999年8月、全国最初の支部として設立されました。当初、部会を中心とした活動から、北海道のまちづくりを考え、行動する取り組みを進めてきました。2016年に支部体制が刷新され、J's Café 北海道を中心に「都市×〇〇」を基本コンセプトに活動を進めています。

広島支部



田嶋 麻美

広島支部は、2022年8月に設立されました。これまで、広島県竹原市、呉市や、島根県津和野町でまち歩きを行いました。まちづくりに関わる人たちの交流会や、まち歩きを通じて、まちに関わる人を増やしていきたいと考えています。

神奈川支部



中西 正彦

神奈川支部は2005年設立の横浜支部を名称変更して現在に至っております。県内には大小様々な自治体があり、それぞれのまちの抱える課題は多種多様です。まちづくりに興味のある方、ご参加ください。

積丹支部



湊 太郎

積丹支部は2024年7月に設立された、一番新しい支部です。豊かな海と山を持つ「北海道・積丹エリア」をフィールドに、「ほど良い規模のたくさんの北海道」を支えるチームとなるべく、活動しています。

どなたでも参加できる、緩やかな交流の場を開催しています



J's cafe

J's cafeは、まちづくりや都市計画に興味がある人、専門家がふらっと集まり、コーヒーやビール片手にゲストの



話を聞きながら、参加される多様な分野の方々と、分野を横断して語り合いながら、ゆるやかに会話・交流する場です。どなたでも参加で



きますので、カフェに行く感じで、気軽にご参加ください。開催は不定期ですが、ホームページやSNSで告知します。



都市計画の業界や人材に関する制度や事業にも携わっています

◎ 都市計画4団体(都市計画学会、都市計画協会、都市計画家協会、都市計画コンサルタント協会)の連携協力のもと、都市計画業務の質的向上や都市計画コンサルタントの職能確立と社会的地位の向上等を図るため、次の制度・事業に取り

組んでいます。

認定都市プランナー制度

「認定都市プランナー制度」は、多様な広がりを持つ都市計画関係業務を担う専門家の専門性を明らかにしたうえで「都市プランナー」を認定しています。

e-job事業

「都市計画コンサルタント優良業務登録事業(e-job事業)」は、自治体発注による都市計画コンサルタント業務の中で、発注自治体に優良と評価されたものを登録・公表するものです。

研修・育成の場づくりを展開しています

◎ 2015年から、行政、民間、コンサルタント、学生等を対象として、専門家を招聘し、交流・学習とネットワークづくりの場となる「まちづくり

カレッジ」を開講しました。
◎ 都市計画の基礎をはじめ、公共空間を活用したプレイスメイキング、エリアマネジメント、交通・モビリ

ティ、高齢社会のコミュニティケアなど、幅広いテーマを設定し、延べ20を超える講座開催、延べ500人を超える受講者を集めました。

社会課題解決につながる取組等を進める企業等と地域をつなぐ活動をしています

◎ 現代のまちづくりでは、自治体と住民、企業が連携を図っていくことが益々重要になってきました。

◎ 私たちは企業と地域とをマッチングし、企業が持つリソースを地域課題解決と持続可能なまちづくりに繋げることを新たな事業領域とし、活動をスタートしています。

会員の多くは全国でまちづくりを実践中

会員の多くは、研究、実践の場として特定の地域の都市計画やまちづくりに関与しています。またその分野は、環境、エネルギー、基盤整備、都市開発、観光振興、福祉、教育、市民活動支援など様々です。

地域課題解決には企業のアイデアや技術が不可欠

各会員は、住み続けられるまちづくりが求められる今、解決を図りたい具体的な課題を抱える地域に対応していますが、その解決には企業が有するアイデアや技術が不可欠です。

実践的なまちづくりへの参画は社員のリスクリングに有効

地域まちづくりの現場は、様々な企業にとって事業領域拡大の可能性を秘めている一方、各企業の社員にとっては、超実践的なリスクリングの場であると同時に、ES向上にも繋がる貴重な経験と社外交流の場にもなります。



「都市計画家協会賞」で草の根まちづくり活動を応援・表彰しています



◎ 日本都市計画家協会賞は、全国の都市や地域で実践されている様々な分野やテーマの「草の根まちづくり活動」を応援し、優れた理念や活動を全国に発信・波及することを目的に、2003年にスタートしました。開始当初は毎年実施し、2011年からは隔年実施として、2023年で16回、受賞団体は138団体を数え、最も優れた活動を実践している団体を「日本まちづくり

大賞」として表彰しています。

◎ 都市や地域の現場に根差した住民主体あるいは多様な主体の協働によるまちづくりの実践活動を対象とし、その実行母体の団体を表彰しています。「まちづくり」に関連する表彰制度で、民間を主とするまちづくり活動を対象に、NPOである当協会が審査料無料で賞金有という仕組みが特徴です。



JSURPを知る10のキーワード

- 1 都市計画家**
みずからの都市形成の概念に立脚して市民と企業の物的な都市環境の新しい姿を造形的、そして図表的に明示する専門職(初代 伊藤滋会長)
- 2 1993年・2001年・2014年**
1993年4月に設立総会を開催、2001年5月にNPO法人としての設立総会開催、2014年10月認定NPOとなった
- 3 都市づくり運動の核**
「日本都市計画家協会設立の趣旨」に記載されている言葉。都市計画家個人に留まらず集団としての狙いを表している
- 4 72人の発起人**
大学や行政、民間等の様々な立場で都市計画実務を担う専門家(プランナーや研究者、デザイナー等)たちが発起人として集っていた
- 5 常に共創・発信する運動体**
「複合領域を包摂する創造的なJSURP」を目指して活動を広げ、深める団体としての意識(第3代小林英嗣会長)
- 6 研究会**
JSURPの最も基礎的な会員活動。これまでに50以上の研究会が発足し、活動を行っている
- 7 都市計画キャラバン**
「全まち」や「全国都市再生まちづくり会議」の前身となる、創設初期段階での主要事業の1つ
- 8 草の根まちづくり**
2005年開催の全国都市再生まちづくり会議でも、「草の根まちづくり」に関する熱い議論が行われていた
- 9 『Planners』**
協会設立総会直前に準備号(創刊号は1994年1月発行)が発行され、これまで100号以上発行されている協会の会報誌
- 10 シティラボ東京**
JSURP理事も設立時社員になり、団体としても法人社員として参画する「一般社団法人アーバニスト」が運営するオープンイノベーション拠点

活動を通して感じるJSURPの魅力とは？



星島 栄三

全国まちづくり会議2024 in ナゴヤ
実行委員会 委員長/名古屋工業大学
大学院工学研究科 教授

ナゴヤは何でも揃っている、満たされている。それゆえに発信力が弱い。全国まちづくり会議2024 in ナゴヤはこの地域のまちづくりを全国の活動家、専門家知っていただく場となり、同時に自らのまちを再認識する、またとなる機会になりました。大感謝です。



宮下 杏里

総持寺通り協同組合 輪島市櫛比の庄
「禅の里交流館」管理部長/一般社団法人
NOTOTO. 理事/総持寺祖院広報

輪島市門前町は、高齢化率約65%となり、現場では人手が圧倒的に不足しています。それに加えて、半島ならではのコミュニティや生活文化が残っており、現地に入って、人となりを知った上で復興プランを一緒に考えてもらえるのは、とてもありがたいです。



藤江 徹

公益財団法人公害地域
再生センター(あおぞら
財団) 事務局長

2020年からJSURPとともに休眠預金活用事業に取り組みました。新型コロナ禍の困難な状況の中、全国のまちづくりの仲間、様々な支援の専門家とのつながりに助けられました。



岡野 みゆき

公益財団法人沖縄県
労働者福祉基金協会
(沖縄県労福協) 常務理事

休眠預金事業で連携していますが、JSURPさんの「まちづくり＝地域づくり＝人々の幸せ」という想い+分析力+実践力はとても素晴らしい！大きな学びを得ています！



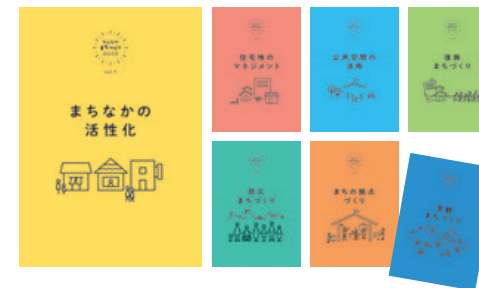
市村 昭宏

OIKOS MUSIC (株)
代表取締役

JSURPは、まちと人をつなぐ活動を通じて、暮らしの中にある心の豊かさや幸せを見つめ直すきっかけをくれる組織です。活動に参加することで、この想いの輪を社会に広げていきたいと考えています。

発行物

「みんなのまちづくりNOTE」



まちづくりを始めた人が最初に読む本として、「みんなのまちづくりNOTE」を公開しています。



会報誌「Planners」



時機に応じたテーマについての特集や、研究会の成果報告、本部や支部の活動報告などによって構成される会報誌Plannersを発行しています。



寄付のお願い

JSURPの活動への参加や協力、資金等の賛助・支援をお願いいたします



◎ まちづくりの力で社会課題を解決することをミッションに、まちづくりの担い手の育成、災害復興支援など地域の活力や持続可能性を高める活動を広げていくため、みなさまへの寄付のお願いをしています。

◎ 当協会は2014年より認定NPO法人となり、より高い公益性をもった団体として判定を受けており、寄付いただいた方には、下記のような税制優遇措置が受けられます。是非とも、日本都市計画家協会の活動への支援をお願い致します。

【 寄付の方法について 】

<https://jsurp.jp/nyuukai/>

- ▶ 寄付サイトからのネット決済
- ▶ 銀行・郵便によるお振込み



【 税額控除について 】

当協会は認定NPO法人の承認を受けており、寄付金控除の特典があります。寄付金額の最大約50%が税額控除対象となります。

